



ふるさと創世

(住み良い町にくらしの工夫)

実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

第145号
平成24年7月25日
田迎校区公民館
館長 東 旭
編集委員
田代 久子 吉住 久江
重安 和弘 西 朝徳
☎378-5878
編集責任 吉野元生

平成二十四年度 まちづくり委員会総会開催

平成二十四年五月二十一日(月)午後六時より田迎公民館に於いて、田迎校区まちづくり委員会総会が行われた。

総会は、二町内自治会長太田国入氏の総司会で始められた。はじめに、前田昇一会長の挨拶があり、そのあと、東田副会長を議長に選出され、提案された議題が審議された。二十三年度の事業報告等は、西田耕造事務局長によって行われた。二十三年度に実施された行事は次の通りである。松葉ホタン等の苗をプランターに植える花の輪運動の実施や町内一斉の蚊の駆除。田迎小分離にもなう期成会会議での学校名や通学路等の話し合い。南署へ通学路の安全対策の陳情等が話し合われた。

その後は、二十四年度の年間行事及び予算案が審議され、全て承認されて総会は終了した。



今年度は田迎校区として行動する最後の年となる。そこで日常生活でのくらしを点検して、田迎のまちの課題を捉えて、住民同志の連携を密にして、地域と家庭と学校の更なる連携の強化に努力する事を重点目標として掲げて総会は閉じられた。

来年度は、田迎、田迎西の両校区に分れての活動をする事になる。住民の積極的な参加と協力が望まれる所である。

命を守る「命のバトン」

六月十四日(月)午後七時からコミセンに於いて「命のバトン」についての説明会が開催された。田迎校区社会福祉協議会(東田会長)でも「命のバトン」への取り組みを行うことになったのである。その内容はどんなものかの説明会が、熊本市社会福祉協議会から、主査の中嶋寿紀氏を招いて行われた。

命のバトンとは、自分の持病や薬や医療情報を記入した紙面をケースに入れて冷蔵庫に保管する。災害時や緊急時にかけた救助隊員がそれを見て、適切に迅速な処置をすることが出来る仕組みである。



最高の絆を求めての大運動会

五月二十七日(日)午前八時三十分より晴天の下に田迎小学校の運動会が行われた。今年度は田迎校区としての最後の運動会となった。運動会には、「千人で団結、未来に残そう最高の絆。」をテーマとして行われた。運動場の周囲は、学級ごとに旗を作り、各児童が運動会でがんばる事を言葉で表わしていた。

また、運動場の周りには子どもの席で囲まれて、その後で保護者は観覧し、応援している。暑い中なので、木の下にシートを広げて、ゆっくり休憩し、自分の子どもの出番の時は前に出て応援する程、人でいっぱいであった。

先生方はそろいのTシャツで、背中には絆の文字を入れて運動場を走り回っておられた。運動場内は、今年入学の一年生の競走が行われていた。本部席の前をスタートの合図の笛で走っていた。走り込むゴールには、カメラをかかえた保護者で大盛況であった。

二年のエイサーのかわいい踊り等もあって終日、大盛況の運動会で応援する保護者は大いそがしであった。



校区老人会総会開催

五月二十六日(日)午前十一時より出仲間公民館に於いて、来賓に市議会議員の江藤先生を迎えて、校区老人会総会が開催された。

総司会会の西田宏志氏の進行によって総会は進められた。来賓挨拶と千場伸宏会長の挨拶があった後に事業報告が行われた。

主な内容は、田迎小三年生の昔の遊びやまつりについての話をした事や、託中の生徒とグラウンドゴルフをした事等であった。その後、決算報告があり全員の賛成で承認された。

また、二十四年度の事業計画案や予算案等の提案があったが原案通りに承認された。今年で校区老連の総会は最後になり、次回の総会は決算総会になる予定との事である。

今年度は老連として次の事を計画している。高齢者交通安全教室を田迎と出仲間二ヶ所で実施。グラウンドゴルフ大会の実施。田迎小児童とのふれあい遊びやふれあい給食等を行い、友愛、健康、奉仕をモットーに老人会活動を進められた。

